

第143回 日商簿記検定試験 1級 一商業簿記一 解説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

1. 商品売買に関する事項（以下、仕訳の単位は千円）

(1) 未処理事項の処理及び修正仕訳

(借) 貸倒引当金	1,500	(貸) 売掛金	1,500
(借) 前受金	21,000	(貸) 売掛金	21,000
(借) 商品売上高	200,000	(貸) 商品売上原価	182,000
(〃) 受取手数料			18,000

(2) 整理仕訳

- (a) 正味売却価額：7,700千円（売価）－200千円（見積販売費用）＝7,500千円
(b) 商品評価損：8,000千円－7,500千円＝500千円
(c) 貸倒引当金繰入額

- ① 一般債権：144,000千円（整理前（以下、T/B））－1,500千円（貸倒）－21,000千円（修正）
－8,000千円（貸倒懸念債権）＝113,500千円
② 一般債権の貸倒引当金繰入額：113,500千円×2%－{2,000千円（T/B貸倒引当金）
－1,500千円（当期の補填）}＝1,770千円
③ 貸倒懸念債権の貸倒引当金繰入額：8,000千円×50%＝4,000千円
④ 貸倒引当金繰入額：②＋③＝5,770千円

(借) 商品評価損	500	(貸) 商品	500
(借) 商品売上原価	500	(貸) 商品評価損	500
(借) 貸倒引当金繰入額	5,770	(貸) 貸倒引当金	5,770

(3) 解答の金額

- ◆ 商品売上高：1,000,000千円（T/B商品売上高）－200,000千円（修正額）＝800,000千円
◆ 受取手数料：166,000千円（T/B受取手数料）＋18,000千円（修正額）＝184,000千円
◆ 商品売上原価：860,000千円（T/B商品売上原価）－182,000千円（修正額）
＋500千円（商品評価損）＝678,500千円
◆ 売掛金：144,000千円（T/B売掛金）－1,500千円（貸倒）－21,000千円（修正）＝121,500千円

2. 退職給付に関する事項

(1) 決算整理前残高試算表の退職給付引当金の金額⇒問1の③の答え

割引率の引き下げによると退職給付債務の金額は増加するため、未認識数理計算上の差異は不利差異と考えられる。したがって、267,000千円（退職給付債務）－152,000千円（年金資産）
－24,000千円（未認識数理計算上の差異）＝91,000千円

(2) 修正仕訳

(借) 退職給付引当金	26,000	(貸) 退職給付	26,000
-------------	--------	----------	--------

(3) 決算整理仕訳

- (a) 利息費用：267,000千円（期首の退職給付債務）×2%＝5,340千円
(b) 期待運用収益：152,000千円（期首の年金資産）×3%＝4,560千円
(c) 未認識数理計算上の差異の当期償却額：24,000千円（期首）÷8年（残存勤務期間）＝3,000千円
(d) 退職給付費用：17,500千円（勤務費用）＋(a)－(b)＋(c)＝21,280千円

(借) 退職給付費用	21,280	(貸) 退職給付引当金	21,280
------------	--------	-------------	--------

3. 有価証券に関する事項

(1) J社株式について

(a) 再振替仕訳

- ① 繰延税金負債：{30,000千円（前期末時価）－25,000千円（取得原価）}×30%＝1,500千円
② その他有価証券評価差額金：5,000千円（評価差額）－1,500千円＝3,500千円

(借) 繰延税金負債	1,500	(貸) その他有価証券	5,000
(〃) その他有価証券評価差額金	3,500		

(b) 期中の売却処理の修正

- ① 投資有価証券売却益：29,000千円（売却価額）－25,000千円（取得原価）＝4,000千円

(借) 仮受金	29,000	(貸) その他有価証券	25,000
(〃) 投資有価証券売却益			4,000

(2) K社社債

(a) 再振替仕訳

- ① 金利調整額：{10,000千円（額面金額）－9,600千円（取得原価）}÷4年＝100千円
② 20X5年3月末の帳簿価額：9,600千円＋100千円（20X4年3月末）＋100千円（20X5年3月末）
＝9,800千円
③ 繰延税金負債：{10,050千円（前期末時価）－9,800千円（20X5年3月末の帳簿価額）}×30%＝75千円
④ その他有価証券評価差額金：250千円（評価差額）－75千円＝175千円

(借) 繰延税金負債	75	(貸) その他有価証券	250
(〃) その他有価証券評価差額金	175		

(b) 決算整理仕訳

- ① 償却原価：9,800千円（20X5年3月末の帳簿価額）＋100千円（当期の金利調整額）＝9,900千円
② 評価差額：10,080千円（当期末の時価）－9,900千円＝180千円
③ 繰延税金負債：180千円×30%＝54千円
④ その他有価証券評価差額金：②－①＝126千円

(借) その他有価証券	100	(貸) 有価証券利息	100
(借) その他有価証券	180	(貸) 繰延税金負債	54
(〃) その他有価証券評価差額金			126

(3) 解答の金額

- ◆ 有価証券利息：500千円（T/B有価証券利息）＋100千円（金利調整額）＝600千円

4. 有形固定資産に関する事項

- (1) リース資産について
- (a) 決算整理前残高試算表のリース資産の金額⇒問1の①の答え
 $12,000 \text{ 千円} \div 1.05 + \{12,000 \text{ 千円} \div (1.05)^2\} + \{12,000 \text{ 千円} \div (1.05)^3\} \approx 32,679 \text{ 千円}$
又は
 $10,893 \text{ 千円} (1 \text{ 年分のリース資産減価償却}) \times 3 \text{ 年} = 32,679 \text{ 千円}$
- (b) 修正仕訳
- ① 支払利息：22,313 千円 $\times 5\% \approx 1,116 \text{ 千円}$
② 返済のリース債務：12,000 千円 (リース料) $- 1,116 \text{ 千円} = 10,884 \text{ 千円}$
- | | | | |
|-----------|--------|------------|--------|
| (借) 支払利息 | 1,116 | (貸) 支払リース料 | 12,000 |
| (〃) リース債務 | 10,884 | | |
- (c) 決算整理仕訳
- ① 減価償却費：32,679 千円 (取得原価) $\div 3 \text{ 年} = 10,893 \text{ 千円}$
- | | | | |
|----------------|--------|------------------|--------|
| (借) リース資産減価償却費 | 10,893 | (貸) リース資産減価償却累計額 | 10,893 |
|----------------|--------|------------------|--------|
- (2) 建物について
- (a) 決算整理前残高試算表のリース資産の金額 ⇒ 問1の④の答え
① $960,000 \text{ 千円} \div 12 \text{ 年 (耐用年数)} \times 4 \text{ 年 (20X1 年 4 月} \sim 20X5 \text{ 年 3 月)} = 320,000 \text{ 千円}$
- (b) 決算整理仕訳
- | | | | |
|-------------|--------|---------------|--------|
| (借) 建物減価償却費 | 80,000 | (貸) 建物減価償却累計額 | 80,000 |
|-------------|--------|---------------|--------|
- (3) 解答の金額
- ◆ 支払リース料：25,000 千円 (T/B支払リース料) $- 12,000 \text{ 千円 (ファイナンス・リース)} = 13,000 \text{ 千円}$
◆ 減価償却費：10,893 千円 (リース) $+ 80,000 \text{ 千円 (建物)} = 90,893 \text{ 千円}$

5. 資本取引に関する事項

- (1) 新株予約権付社債について
- (a) 決算整理前残高試算表の社債の金額⇒問1の②の答え
① 金利調整額：(1,000,000 千円 $- 985,000 \text{ 千円}$) $\div 5 \text{ 年} = 3,000 \text{ 千円}$
② 20X5 年 3 月末の帳簿価額：985,000 千円 $+ 3,000 \text{ 千円 (20X4 年 3 月末)}$
 $+ 3,000 \text{ 千円 (20X5 年 3 月末)} = 991,000 \text{ 千円}$
- (b) 権利行使の修正仕訳
- ① 権利行使の新株予約権：15,000 千円 $\times 10\% = 1,500 \text{ 千円}$
- | | | | |
|-----------|---------|-----------|--------|
| (借) 仮受金 | 100,000 | (貸) 資本金 | 50,750 |
| (〃) 新株予約権 | 1,500 | (〃) 資本準備金 | 50,750 |
- (c) 決算整理仕訳
- | | | | |
|----------|-------|--------|-------|
| (借) 社債利息 | 3,000 | (貸) 社債 | 3,000 |
|----------|-------|--------|-------|
- (2) 自己株式について
- | | | | |
|--------------|-------|----------|-------|
| (借) その他資本剰余金 | 5,000 | (貸) 自己株式 | 5,000 |
|--------------|-------|----------|-------|
- (3) 配当にともなう準備金の積み立て
- (a) 新株予約権の権利行使前に配当が行われた場合
- ① $500,000 \text{ 千円 (T/B資本金)} \times 1/4 - \{50,000 \text{ 千円 (T/B資本準備金)} + 20,000 \text{ 千円 (T/B利益準備金)}\} = 55,000 \text{ 千円}$
② 10,000 千円 (配当額) $\times 1/10 = 1,000 \text{ 千円}$
③ ① $>$ ② ∴ 1,000 千円
- (b) 新株予約権の権利行使後に配当が行われた場合

- ① $\{500,000 \text{ 千円 (T/B資本金)} + 50,750 \text{ 千円 (権利行使)}\} \times 1/4 - \{50,000 \text{ 千円 (T/B資本準備金)} + 50,750 \text{ 千円 (権利行使)} + 20,000 \text{ 千円 (T/B利益準備金)}\} \approx 16,938 \text{ 千円}$
② 10,000 千円 (配当額) $\times 1/10 = 1,000 \text{ 千円}$
③ ① $>$ ② ∴ 1,000 千円
- (c) 未処理の仕訳
- | | | | |
|-------------|-------|-----------|-------|
| (借) 繰越利益剰余金 | 1,000 | (貸) 利益準備金 | 1,000 |
|-------------|-------|-----------|-------|
- (4) 解答の金額
- ◆ 社債利息：14,000 千円 (T/B社債利息) $+ 3,000 \text{ 千円 (金利調整額)} = 17,000 \text{ 千円}$
◆ 資本準備金：50,000 千円 (T/B資本準備金) $+ 50,750 \text{ 千円 (権利行使)} = 100,750 \text{ 千円}$
◆ その他資本剰余金：16,000 千円 (T/Bその他資本剰余金) $- 5,000 \text{ 千円 (自己株式の消却)} = 11,000 \text{ 千円}$
◆ 問3の繰越利益剰余金の金額は、360,000 千円 (T/B繰越利益剰余金) の額が配当後の金額であるため、10,000 千円 (配当額) を加えることで期首の 370,000 千円が計算される。

6. 法人税等及び税効果会計

- (1) 法人税等の計上
- | | | | |
|------------------|--------|------------|--------|
| (借) 法人税・住民税及び事業税 | 35,000 | (貸) 未払法人税等 | 15,000 |
| (〃) 仮払法人税等 | | | 20,000 |
- (2) 法人税等調整額
- (a) 建物の耐用年数の差異：(960,000 千円 $\div 12 \text{ 年} - 960,000 \text{ 千円} \div 15 \text{ 年}) \times 5 \text{ 年 (20X1 年 4 月} \sim 20X6 \text{ 年 3 月)} = 80,000 \text{ 千円}$
- (b) 当期末の一時差異：3,000 千円 (未払事業税) $+ 6,270 \text{ 千円 (貸倒引当金)} + 500 \text{ 千円 (商品)} + 80,000 \text{ 千円 (建物)} + 86,280 \text{ 千円 (退職給付引当金)} = 176,050 \text{ 千円}$
- (c) 当期末の繰延税金資産：(b) $\times 30\% = 52,815 \text{ 千円}$
- (d) 当期の法人税等調整額：48,000 千円 (期首の繰延税金資産) $- 52,815 \text{ 千円 (期末の繰延税金資産)} = 4,815 \text{ 千円}$
- (3) 決算整理仕訳
- | | | | |
|------------|-------|-------------|-------|
| (借) 繰延税金資産 | 4,815 | (貸) 法人税等調整額 | 4,815 |
|------------|-------|-------------|-------|

7. 株主資本等変動計算書の一部 (株主資本以外、単位：千円)

	評価・換算差額等		新株予約権
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等の 合計	
当期首残高	3,675	3,675	15,000
当期変動額			
…			
…			
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△ 3,549	△ 3,549	1,500
当期末残高	126	126	13,500

評価・換算差額等の当期変動額 = 126 千円 (期末) $- 3,675 \text{ 千円 (期首)} = \triangle 3,549 \text{ 千円}$

8. キャッシュ・フロー計算書の一部（財務活動によるキャッシュ・フローのみ）

Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入		100,000
自己株式の取得による支出	△	40,000
配当金の支払額	△	10,000
リース債務の返済による支出	△	10,884
支払利息	※1△	15,116
財務活動によるキャッシュ・フロー		24,000

※1 支払利息：14,000 千円（社債のクーポン利息）＋1,116 千円（リースの支払利息）＝15,116 千円

9. 貸借対照表

貸借対照表							
平成 20X6 年 3 月 31 日 現在				(単位：千円)			
現金預金		230,027		買掛金		35,000	
売掛金		121,500		リース債務		11,429	
貸倒引当金	△	6,270		前受金		9,000	
商 品		49,500		未払法人税等		15,000	
短期繰延税金資産		2,931		社 債		994,000	
建 物		960,000		退職給付引当金		86,280	
減価償却累計額	△	400,000		資 本 金		550,750	
リ ー ス 資 産		32,679		資 本 準 備 金		100,750	
減価償却累計額	△	21,786		そ の 他 資 本 剰 余 金		11,000	
土 地		1,200,000		利 益 準 備 金		21,000	
投資有価証券		10,080		繰越利益剰余金		415,656	
長期繰延税金資産		49,830		自 己 株 式	△	35,000	
				その他有価証券評価差額金		126	
				新 株 予 約 権		13,500	
		2,228,491				2,228,491	